

小学校6年生用
ふり返り学習教材
国語



文部科学省

年 組 氏名

小学校六年生のみなさんへ

この教材は、小学校六年生の主として夏ごろまでに学習したことを、ふり返って学習したり、自分の学習じょうきょうをかくにん確認したりすることができるよう作成しました。

今までの学習を思い出し、まずは自分一人で取り組んでみましょう。分からなかった問題や、まちがえた問題があった場合には、解説を読んだり、教科書等で確認したりしましょう。

学校の先生方へ

学校の先生方におかれましては、本教材の趣旨を踏まえつつ、学校や児童の実情に応じて無理のない範囲でご活用ください。

本教材が、先生方の指導の一助になることを願っています。

目次

1	漢字を正しく読んだり書いたりしよう	1
2	複合語について考えよう	4
3	文と文をつなぐ言葉を考えよう	5
4	情報と情報とを関係付けて整理しよう	6
5	俳句などの作品に親しもう	7
6	注意しながら文字を書こう	11
7	立場や意図をはっきりさせながら討論しよう	13
8	おすすめする文章を書こう	19
9	集めた文章などを読み自分の考えをまとめよう	23
10	物語を読んで人物像を想像しよう	33
1	正答例と解説	40
2		42
3		43
4		44
5		45
6		46
7		47
8		50
9		52
10		55

1

漢字を正しく読んだり書いたりしよう

次の一から三の問いに答えましょう。

一 (1)から(7)までの文の — 部の漢字の読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

(1) 果たすべき役割。

(2) 城下町を散策する。

(3) 異変に気が付く。

(4) 委員会で検討を重ねる。

(5) 映画館へ行く。

(6) 祖父母を敬う。

(7) 桜並木を通りぬける。

一						
(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
	(う)					

二

(1) から (5) までの文の | 部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

(1) 実現が**む**ずかしい。

(2) 自然との**き**ょうぞん。

(3) 古紙を**し**ょぶんする。

(4) **か**んりやく**か**された地図。

(5) 弟よりも**せ**がニセンチ高い。

二				
(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
				(し い)

三 意味のちがいに注意して、(1)から(3)の**ア**から**ケ**の

(3)	(2)	(1)
ケ ク キ	カ オ エ	ウ イ ア
火曜日に発売になるしゅうかん誌 <small>し</small> を買う。	正月にはふるさとにきせいする。	彼はきかい <small>たいそう</small> 体操の選手だ。
十月からの読書しゅうかんが始まる。	道路が工事できせいされる。	部品を作るきかいを動かす。
歯みがきのしゅうかんを身に付ける。		特技をいかすきかいにめぐまれる。

三								
(3)			(2)			(1)		
ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア

部の漢字を書き分けましょう。

2

複合語について考えよう

次の例のように、二つの言葉が組み合わさって、一つ of 言葉になることがあります。あとの (1)・(2) の

ア

・

イ

の中に入るふさわしい言葉を、それぞれ書きましょう。

(例)

持つ

+

上げる

↓

持ち上げる

(1)

走る

+

続ける

↓

ア

(2)

イ

+

付ける

↓

結び付ける

イ	ア

3

文と文をつなぐ言葉を考えよう

次は、中西さんが放送委員としての一年間の目標について書いた文章です。 ア・

イ・ウ の中に入るふさわしい言葉を、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【中西さんが書いた一年間の目標】

わたしは、放送委員としての一年間の目標を二つ立てた。

一つは、みんなが時間に合わせて学校生活を送ることができるよう、放送をする時こくをしっかりと守ることである。 ア、朝や昼、帰りに放送をする時こくをメモに書き、こまめに時計を見て確かめようと思う。

イ、放送を聞いている人に、内容を正しく伝えることができるように、話し方をくふうすることである。そこで、放送をする前に、原こうを読む速さや間の取り方を練習しようと思う。

ウ、二つの目標の達成を目指して、一年間努力していきたい。

- 1 以上のように
- 2 その理由は
- 3 そのために
- 4 反対に
- 5 もう一つは

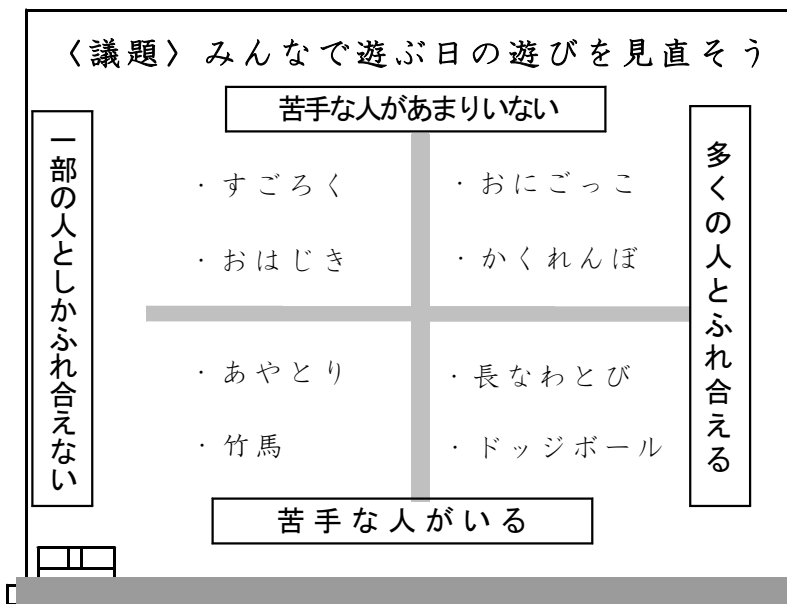
ア	
イ	
ウ	

4

情報と情報とを関係付けて整理しよう

岩村さんの学級では、みんなが参加でき、多くの人とふれ合えるように、「みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう」という案が出されました。それを議題として話し合いをしています。次は、話し合いの内容を黒板にまとめた【記録の一部】です。まとめ方の説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【記録の一部】

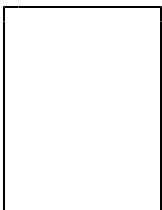


1 出された「遊び」を、場所やルールごとにそれぞれ整理している。

2 提案の理由に合わせて複数の観点を決め、それらに合わせて「遊び」を分類している。

3 出された「遊び」を、みんなが参加できると考えられる順番に上からならべている。

4 一つの「遊び」を取り上げ、そこからほかの「遊び」を連想して広げている。



5

俳句などの作品に親しもう

次の一と二の問いに答えましょう。

一 大林さんの学級では、グループごとにお気に入りの俳句はいくを選んで、しようかいし合うことにしました。大林さんのグループでは、次の【俳句】を選び、考えたことを話し合っています。【大林さんのグループの話し合いの一部】の **ア** ・ **イ** の中に入る最もふさわしい言葉を、あとの1か2のいずれか一つ選んで、その番号をそれぞれ書きましょう。

【俳句】

とつぷりと後ろ暮れくる(つ) 焚火たきかな(い)

松本たかし

【大林さんのグループの話し合いの一部】

大林

「焚火かな」というのは、「焚火だろうか」と疑問ぎもんに思っているのかな。

池田

それはどうかな。今までの俳句の中に出てきた「かな」というのは、感動を表すときに使われていたわ。この俳句の「かな」も、「焚火だなあ」と焚火の様子をしみじみ思うという意味と考えたほうがいいんじゃないかしら。

木村

なるほど。そうすると、「とつぷりと後ろ暮れくる(つ)」の部分が大切になってくるね。その部分を想像すると、日がすっかりしずんで周りが暗くなっている様子が目にうかぶね。

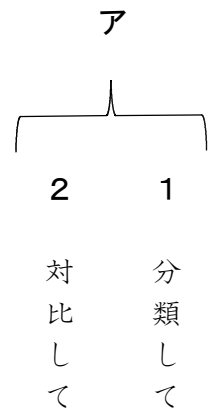
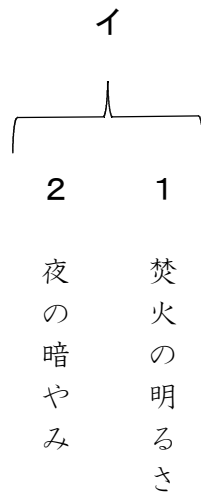
小松

そうね。そのことが「とつぷりと」という言葉に表れているね。ここでは、焚火とその周りの景色けしきとを、 **ア** いるように思うわ。

大林

そう考えてみると、焚火の周りの景色によって、 **イ** がいっそう強調されて、その様子がはっきりと想像されるね。

（話し合いが続く）



—	
イ	ア

二 谷川さんは、歌舞伎※1の作品「外郎売」※2を音読して、気が付いたことをノートにまとめています。次は、音読した【「外郎売」の一部】と【ノートの一部】です。谷川さんが気が付いたことの説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【「外郎売」の一部】

がらびいがらびい 風車かざぐるま
おきやがれこぼし
おきやがれこぼし
ゆんべもこぼして
またこぼした
たあふぽほ たあふぽほ
ちりから ちりから
つつたっぽ

【ノートの一部】

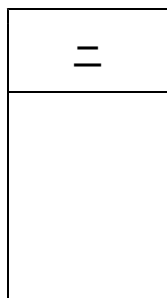
○音読して、気が付いたこと

- ・くりかえしが多い。
- ・似ている言葉がある。
- ・早口言葉のようでおもしろい。
- ・拍子ひょうしを取りたくなる。

※1 「歌舞伎」……約四百年前に始まった演劇えんげき。

※2 「外郎売」……「外郎」という漢方薬を売り歩く人。

- 1 使われている言葉やリズム、声に出したときの感じをまとめている。
- 2 言いかえが多いので、意味がとらえにくくなっていることをまとめている。
- 3 昔の人々の声の出し方のちがいに注目して、昔と今のちがいをまとめている。
- 4 くりかえし出てくる言葉を、どのように読むと分かりやすいかをまとめている。



6

注意しながら文字を書こう

次は、本間さんが毛筆で書いた下書きです。これを、「ア 文字の大きさ」、「イ 文字と文字の間」、「ウ 文字と行の中心」の三つの点から見直して清書をします。ウについては、どのように書き直ししますか。あとの

A

の中に入るふさわしい内容をアとイの書き方と同じように書きましよう。

【下書き】



※ は、行の中心を表しています。

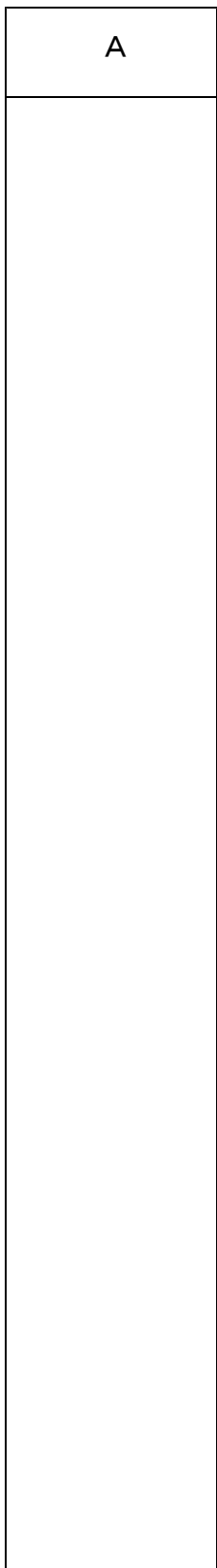
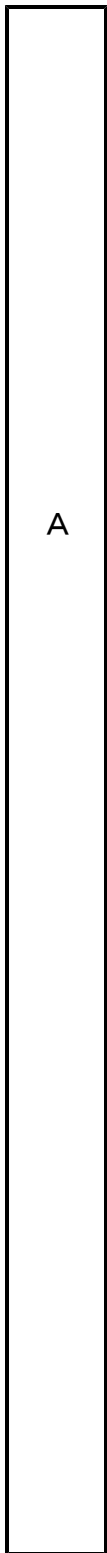
ア 文字の大きさ

「を」、「ろ」、「う」が漢字と同じくらいの大さきになっているから、漢字より少し小さくする。

イ 文字と文字の間

「時」と「間」との間があきすぎているから、ほかの文字と文字との間と同じようにする。

ウ 文字と行の中心



立場や意図をはっきりさせながら討論しよう

第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】

司会 これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

丸山 ①はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどうだからです。パソコンであれば、何度でもかんたんに書き直すことができるので、作業に取り組みやすいと思います。

大野 ②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

司会 次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

関口 はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

平川 ③私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができますので、取り組みやすいと思います。

パソコンを使う立場の主張

手書きの立場の主張

手書きの立場からパソコンを使う立場への質問や意見

「記念に残る卒業文集のあり方」について

あなた

（討論会が続く）

大野さんの発言に対して質問があります。

イ

司会



ほかにありませんか。（発言がないことを確かめて）二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

「ア」について

丸山 谷 丸山 林



確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると思っています。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むこともできると思います。



丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組めるので、手書きがよいと思います。



はい。学級の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていると思います。



丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作そとうさが得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。

司会



④ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点が二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「**ア**」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「**ア**」から、質問や意見をお願いします。

一 【討論会の様子】の中の司会④の

ア

の中には、丸山さん①と平川さん③の発言に共通する

観点が入ります。ふさわしい内容を、二人の発言に共通する言葉を使って、十二字以内で書きま

—

二 【討論会の様子】

の中の林さん⑤の質問は、どのようなねらいがあると考えられますか。その

説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手の主張の内容と自分の主張の内容との共通点を知ろうとしている。
- 2 相手の主張に対する自分の考えが理解されているかどうか確認かくにんしようとしている。
- 3 相手の主張の中で述べられていないことがらをくわしく聞き出そうとしている。
- 4 相手の主張の中に理由が述べられていないことを明らかにしようとしている。

二

三 あなたは、【討論会の様子】の中の

イ

のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの

立場から「質問」をします。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 大野さん②の発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。
- 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

三			
大	野	さ	ん
の	発	言	に
対	し	て	質
問	が	あ	り
ま	す		◆

100字 80字

四 あなたは、【討論会の様子】の中の、「記念に残る卒業文集のあり方」という観点で、「手書きの立場」と

「パソコンを使う立場」のどちらを選びますか。また、それはなぜですか。あなたの考えを、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「手書きの立場」か「パソコンを使う立場」かを明らかにして書くこと。
- なぜ、その立場を選ぶのか、自分の考えの理由を書くこと。
- 八十字以上、百字以内にとめて書くこと。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

四					
					◆

100字 80字

おすすめする文章を書こう

星野さんは、給食の献立こんだての一つである「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと思っています。次は、星野さんが以前書いた「かみかみあえ」についての【紹介する文章】と、それをもとにしておうちの人に向けて書いている【おすすめする文章】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

かみかみあえ



【紹介する文章】

「かみかみあえ」は、※するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。

するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろどりも考えられています。

中華風ちゅうかふうドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

※「するめ」……イカを干した食品。

【おすすめする文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っているあえ物です。よくかんで食べることから、このような名前がついています。おうちの人に、この「かみかみあえ」を、サラダやあえ物のメニューとしておすすめします。

するめのほかに、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろどりも考えられています。中華風ドレッシングの味やすめるめのうまみが野菜にしみこんでいて、たまらないおいしさです。

特におすすめしたい理由は、次の二つです。

一つ目の理由は、「かみかみあえ」が、人気のこんだてであることです。

六年一組で以前行ったアンケートでは、サラダやあえ物のうち、好きなこんだての上位三つに入っていました。六年一組では、「ツナマヨサラダ」と同じくらい人気があるこんだてです。きっと、ほかの学級でも好きな人が多いと思います。

二つ目の理由は、「かみかみあえ」におし歯を防ぐ効果があることです。

同じサラダやあえ物の中で人気のこんだての一つである「ツナマヨサラダ」と比べると、「かみかみあえ」の方が、よりむし歯を防ぐ効果があります。

「かみかみあえ」は、

おいしくて、みんなに人気があり、歯の健康を保つことにもつながる「かみかみあえ」をぜひ、おうちのメニューの一つに加えてください。

一 星野さんが【紹介する文章】をもとにして書くときに、【おすすめする文章】の最初の部分に
のよう のように書いた理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、
その番号を書きましよう。

- 1 疑問を提示し、読者が興味をもって読めるようにするため。
- 2 自分が伝えたいことを述べ、読者の理解を助けるため。
- 3 具体的な例を多く挙げ、読者に納得なっとくしてもらうため。
- 4 自分の経験を述べ、読者の経験と比べて考えてもらうため。

一

二 星野さんは、「かみかみあえ」のむし歯を防ぐ効果に着目して【おすすめする文章】の
書くことにしました。そこで、以前メモしていた【保健室の先生の話から分かったこと】を取り
入れてくわしく書こうとしています。に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

【保健室の先生の話から分かったこと】


食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ


焼き立てのかおりに包まれて

パン職人の仕事



《パン屋さんの一日》

5:00	パンの生地 <small>きじ</small> の確認 <small>かくにん</small>
	パンの形作り, 焼き
7:00	開店
11:30	パンの形作り, 焼き
14:00	翌日 <small>よくじつ</small> の天気 <small>あそら</small> の確認
	翌日の生地作り
17:00	片付け <small>かたづ</small>
	翌日の準備
19:00	閉店 <small>へいてん</small>



朝5時からパン作り開始

7時の開店に焼き立てのパンをならべるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形にし、発こうさせ、焼き上げます。何種類ものパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。

気になる天気

パンの仕上がりは天気や気温しつど、湿度しつどによって大きく左右されます。翌日よくじつの天気予報よくじつを確認し、生地かくにんの配合や量を調節します。

《パン職人への道》

```

    graph TD
      A[① 中学校] --> B[② 高等学校]
      A --> E[⑤ 助手として修業]
      B --> C[③ 大学・短期大学]
      B --> E
      C --> D[④ 専門学校]
      C --> E
      D --> E
      E --> F[⑥ パン職人]
    
```

【資料2】も読みました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

谷口さんたちは、将来しやうらいなりたい職業について調べ、クラスの中で紹介しやうかいし合うことにしました。谷口さんは、パン職人を選び、【資料1】を読みましたが、もっとくわしく知りたいと思ったので、

「パン職人の坂下さんに聞いてみました」

パン職人の声



◆ パン職人になったきっかけを教えてください。

子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が好きで、たくさんのパンを食べていました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えるようになりました。

◆ どのようにして、パン職人になったのですか。

中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入学していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たつてパン作りの工程の全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

◆ この仕事の大変なところ、苦勞は何ですか。

同じ種類のパンでも、材料の分量や焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるのです、毎日同じ味になるように作り方を考えることがおもしろいです。

また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思いどおりに作ることは、さらにおもしろいです。

◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。

わたしはパンが大好きなので、パンのかおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。

自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおいに包まれないながら、ふっくらと焼き上がったパンがかまから出てくると、パン作りの苦勞がふき飛びます。

焼き立てのパンがお店にならぶと、お客様から「わあ。」「おいしそう。」とかん声が上がることがあるのですが、そんなふうにお客様のうれしそうな声が聞こえた時は、パン職人をやっていることが実感します。

— 谷口さんは、資料を読んでいて意味が分からない言葉があったので、国語辞典を使って調べています。【資料1】の …… 部の「発こう」の意味は、あとの【国語辞典の一部】の1から4までの中のどれに当たりますか。一つ選んで、その番号を書きましよう。

【国語辞典の一部】

は

1 はっこう【発光】

〔名〕 光ひかりを出すこと。

〔例〕 ホテルが発光している。

2 はっこう【発行】

〔名〕 ① 書物・印刷物などを世よの中なかに出だすこと。② 紙幣しへいや証明書しやうめいしよをつくって出だすこと。

〔例〕 ① 学級新聞を発行する。② 身分証明書を発行する。

3 はっこう【発効】

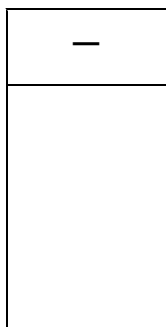
〔名〕 法律ほうりつや規則きそくなどが効力こうりよくをもつようになること。

〔例〕 条約が発効する。⇕⇓ 失効

4 はっこう【発酵】

〔名〕 菌きんの働きで、米・麦むぎ・牛乳ぎゅうにゅうなどが分解ぶんかいして乳酸にゆうさんなどができること。

〔例〕 牛乳を発酵させる。



二 谷口さんは、【資料1】を読んだあと、もっとくわしく知りたいことがあったので別の本を探し、【資料2】を選びました。谷口さんは、どのようなことを知りたいと考えて【資料2】を選びましたか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 パンがどのようにでき上がっていくのかを知りたい。
- 2 パン職人の仕事に対する考え方などを知りたい。
- 3 パン職人の生活は日によって変わるのかを知りたい。
- 4 パンには、どのような種類があるのかを知りたい。

二

三 谷口さんは、【資料2】を読み、坂下さんがどのようなしてパン職人になったのかを【資料1】の《パン職人への道》に当てはめて確かめることにしました。

(問い) パン職人の坂下さんは、【資料1】に付けられた①から⑥までの番号を使うと、どの順番でパン職人になったといえますか。その順番として最も適切なものを、次の1から5までのなかから一つ選んで、その番号を書きましよう。

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | ① ↓ ⑤ ↓ ⑥ |
| 2 | ① ↓ ② ↓ ⑤ ↓ ⑥ |
| 3 | ① ↓ ② ↓ ④ ↓ ⑤ ↓ ⑥ |
| 4 | ① ↓ ② ↓ ③ ↓ ④ ↓ ⑤ ↓ ⑥ |
| 5 | ① ↓ ② ↓ ③ ↓ ⑤ ↓ ⑥ |

三

四 谷口さんは、パン職人の仕事についてスピーチをしたいと考えています。そこで、【資料2】を読みかえしながら、紹介したいことを【スピーチメモ】にまとめています。あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

- 1 将来なりたい職業（パン職人）
- 2 パン職人になりたい理由
 - ・自分の店を持ちたい
 - ・パンが好き
- 3 パン職人への道（パン職人になるための方法）
- 4 パン職人の仕事について
 - ・パン職人の一日
 - ・パン作りと天気との関係
- 5 パン職人の仕事で、特に心に残ったこと
 - ・パン職人の仕事の苦勞
 - ・パン職人の仕事の喜び
- 6 パン職人を目指して自分が考えていること

(1) 谷口さんは、【スピーチメモ】をもとに、友達とスピーチの練習をしています。次は谷口さんの【スピーチの練習の様子】です。に当てはまる内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。



谷口

【スピーチの練習の様子】

私は、パン職人の仕事について紹介します。
わたし

私がパン職人を選んだ理由は、（中略）

パン職人になるためには、いくつかの方法があることが分かりました。例えば、高校卒業後に（中略）

次に、パン職人の仕事について紹介します。パン職人の一日は、朝五時の生地の確認から始まります。（中略）このように、おいしいパンを作るために、パン職人は天気などさまざまなことに気を配っていることが分かりました。

パン職人の仕事について調べてみて、私が特に心に残ったことは「パン職人の仕事の苦勞」と「パン職人の仕事の喜び」です。

大変な苦勞もありますが、パン職人ならではの喜びがあると知り、ますますパン職人を目指そうという思いが強くなりました。

私は将来パン職人になるために、パン作りの工程や、おいしいパン作りのコツなどを学んでいきたいと思っています。（中略）今からできることがないか、探してみたいと思います。

これで、パン職人の仕事についての紹介を終わります。

(2) 谷口さんは森さんから【助言】をもらい、【スピーチの練習の様子】の——部を別の言葉に直すことにしました。谷口さんは、どのような言葉に直すかとよいですか。——に当てはまる言葉を書きましよう。

【助言】



森

谷口さんは、スピーチの中で、「私は将来パン職人になるために、パン作りの工程や、おいしいパン作りのこつなどを学んでいきたいと思えます」と話していたけれど、「工程」という言葉は、聞いているだけでは意味がすぐに分からなかったから、別の言葉に直した方がよいと思うよ。

私は将来パン職人になるために、パン作りの——や、おいしいパン作りのこつなどを学んでいきたいと思えます。

四

(2)

物語を読んで人物像を想像しよう

森内さんの学級では、次の「つりずきの宇宙人」という物語を読んで、思ったことや考えたことを発表し合うことになりました。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

かぞえきれないほどある、宇宙の星の中には、宇宙人のすんでいる星もたくさんあった。その中には、いろんな、かわった宇宙人もすんでいた。

その星の宇宙人たちは、とてもつりがすきだった。宇宙船にのって、あちこちの、生物のいる星に出かけていき、その星にすんでいるさかなを、みんなつりあげてしまう。そのため、その宇宙人たちのすんでいる星の近所では、大きなさかなのいる星が、すくなくなってしまった。

「このごろ、あんまり大ものがかからない。」と宇宙人の一人は、腕をたたいていった。「おかげで、腕がなつてしようがない。」
「この近所のつり場は、もうだめだ。」もう一人の宇宙人がいった。
「どうだ。ひとつ、うんと遠くまで出かけていって、大きなえものいそうな星をさがそうじゃないか。」

(右下に続く)

「そいつはいい。」
こうして、二人の宇宙人は、宇宙船にのって、はるか遠くの宇宙に、さかなのいる星をさがしに出かけた。

キラキラ光る、あたたかい星のまわりをまわっている、小さな星の一つに、二人は、よさそうな場所を見つけた。

「ここなら、だいぶいそうだぞ。」宇宙船のまどから、そのきれいな星を見おろしながら宇宙人はいった。

「ひとつ、メガネでのぞいてみる。」
メガネをのぞいた、もう一人の宇宙人は、うれしそうにさげんだ。

「いるいる！———すごく大きなさかながたくさん、およいでいるぞ。」

「よし、それじゃ、ここにきめよう。」

そういって、二人の宇宙人は、つりざおをとりだした。

「エサは、なにがいいかな？」

(左上に続く)

「わからん、ひとつ、ケバリ（エサの虫などのすがたをまねてつくられた、つくりもののエサのついた針）をつかってみよう。」

二人は、船の中から、長い長いつり糸を、大きなさかなたちのおよいでいるあたりまでたらしした。

「なかなか、食いつかないな。」

「アッ、エサをのみこんだぞ！」

と一人がさげんだ。

「よし、ひっぱれ！」

「だめだ。針はひっかかっているけど、すぐく重くて、なかなか上がらない。」

二人は、まっかになつて、ウンウンいながら、つり糸をひっぱった。

だが、さかなの力はすごく強く、いくらひっぱっても、上がってこなかった。――

とうとうしまいに、つり糸がブツリ切れ、二人は、宇宙船の中でドスンと、ころがった。

「ふう、おどろいた。すごい力のさかなだな。」

一人があせをふきながらいった。

「大ものにはちがいないが、ここのさかなは、ちょっと大きすぎる。」

ともう一人が、ふうふう息をつきながら

（右下に続く）

いった。

「それにカもすごく強い。――ヘタをすると、こつちがひきずりこまれるかもしれんぞ。」

「ほんとか、この星のつりは、ちょっとあぶないな。」

「みんなにも、知らせてやるう。――つりなら、もっとほかの星をさがそう。」

こうして、二人の宇宙人は、その星からはなれていった。

その日の夕方――。

コイノボリをサオからおろしていた、ケンちゃんは、大きなマゴイのコイノボリの口に、みょうな形の針がひっかかっているのを見つけた。

「あれエ？」ケンちゃんは、その針を手にとって、おもわず空を見上げた。「だれか、コイノボリをつろうとしたやつがいるのかな？」

――タやけの空の下に、まだあちらでも、こちらでも、コイノボリがいきおいよく、およいでいた。

（小松左京「つりずきの宇宙人」による。）

※ 「腕がなる」……自分の力を見せたくて、はりきっている様子。

一 森内さんは、自分の思いや考えをまとめるために登場人物の行動や全体の構成をとらえ、発表しました。次の問いに答えましょう。

- (1) 森内さんは、物語を「はじめ」・「中」・「終わり」に分けて、あらすじを表にまとめました。本文中の の部分を **四十字以上、六十字以内** にまとめて、ア の中に書きましょう。

【あらすじをまとめた表】

は じ め	ア		は じ め
つりがすきな宇宙人たちがいて、あちこちの星でさかなをみんなつりあげたために、近所では大きなさかなのいる星がすくなくなりました。	二人の宇宙人は、大きなさかながたくさんいそうな星を見つけ、そこでつりをした。さかなの力が強くて、つり糸が切れてしまった。	〳 (省略) 〳	〳 (省略) 〳
終 わ り			〳 (省略) 〳

(2) 次は、森内さんが発表した内容の一部です。

A

B

して最も適切なものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。の中にいる言葉と

【発表した内容の一部】

私^{わたし}は、終わりの「その日の夕方」の場面がおもしろかったです。
 いくうちに、さかながコイノボリだったことが分かるのに、
 いったからです。く（発表が続く）く

B

A

は、読んで
 は、知らないまま帰って

1 読者

2 ケンちゃん

3 作者

4 宇宙人

—	
(2)	
B	A

二 中島さんとあなたは、森内さんの発表を聞いた後、この物語について話し合っています。中島さんの発言を聞いて、あなたならどのように答えますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【発言】

この物語の全体を通してえがかれている宇宙人のすがたには、私たち人間の様子が表れていると思うな。



中島

〈条件〉

- 中島さんの発言をふまえて、どのような人間の様子が表れているのか自分の考えをまとめて書くこと。
- 登場する宇宙人の行動や物語に起こった出来事についてふれながら書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

1

〈正答例と解説〉

一

(1)

やくわり

(2)

さんさく

(3)

いへん

(4)

けんとう

(5)

えいがかん

(6)

うやま

(7)

さくらなみき

三

(1)

ア 機会

イ 機械

ウ 器械

(2)

エ 規制

オ 帰省

カ 寄生

(3)

キ 習慣

ク 週間

ケ 週刊

二

(1)

難

(2)

共存

(3)

処分

(4)

簡略化

(5)

背

六年生の一学期に習う漢字を中心に出题しています。

漢字を読むことについては、送りがなにも注意しながら、正しく読むことが大切です。漢字を書くことについては、点画の数や、とめ、はね、はらい、送りがななど、まちがえやすいところに注意して正しく書くことが大切です。また、漢字は文章の中で適切に使えるようになることが重要であり、文章の意味に合わせて使い分ける必要があります。特に、同音異義語ぎごには注意が必要です。漢字辞典や国語辞典などを利用し、意味を調べて正しく使い分けることができるようにしましょう。そして、新しく漢字を習うときには、くりかえし練習するだけではなく、日常的にその漢字を使って書くようにしましょう。

2

〈正答例と解説〉

ア 走り続ける イ 結ぶ

複合語は、二つ以上の言葉が組み合わさって新たな一つ言葉になったものをいいます。(1)のように言葉が組み合わさるときには、元の言葉の終わりが変化することが多いです。また、(2)のように、分解すると元の言葉が分かります。それぞれの言葉の意味を調べてあわせてみると、複合語の意味が分かることがあります。

3

〈正答例と解説〉

ア 3 イ 5 ウ 1

文章を書くときには、自分の考えが明確に伝わるようにすることが大切です。ここでは、伝えたい内容が明確になるように、文の意味や文と文とのつながり、文章全体における段落だんらくの役割を考えながら、適切な言葉を選ぶ必要があります。

アは、目標が書かれている一文目とその実現の方法が書かれている二文目をつなぐための言葉となります。イは、目標がそれぞれ書かれている二段落目と三段落目をつなぐ言葉となります。ウは、第一段落から第三段落までの内容をまとめる役割の言葉となります。

4

〈正答例と解説〉

2

この話し合いの中では、みんなが参加でき、多くの人とふれ合えるように、「みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう」という議題にそって、「遊び」が提案されています。これらの「遊び」が提案された理由に合うように、多くの人とふれ合えるか一部の人としかふれ合えないか、苦手な人がいるか、苦手な人があまりいないか、という観点で、「遊び」を分類しながら、図に表してまとめていきます。この図は、上下と左右のじくに設定する観点を書き、じくを境にしてできた四つの場所に、当てはまる「遊び」を書いていきます。

このように、議題にそって話し合う場面では、出された意見を図に表すとすっきりと整理できることがあります。また、話し合いの場面だけではなく、自分の考えをまとめるときにも、図を使うと効果的に整理することができるといえます。

5

へ正答例と解説

一 ア 2

イ 1

俳句は昔から親しまれてきました。五・七・五の十七音から、季節や風情ふぜい、俳句にこめられた作者の思いなどを想像したり、七音五音を中心としたリズムから言葉の美しいひびきを感じとったりしながら、言葉の調子に親しむことが大切です。声に出して読み、楽しんでみましょう。また、俳句を創作そうさくしたときには、友達と交かんして読み合い、感想を伝え合ってみましょう。

二 1

古典の文章には、独特のリズムや長い年月を経てつちかわれてきた美しい言葉のひびきが備わっているものがあります。

谷川さんは、「おきゃがれ」「たあぶぼぼ」などくりかえされる音を音読してみることで、「早口言葉のようでおもしろい」や「拍子を取りたくなる」と感じています。

みなさんも音読することにより、古典のもつ独特のリズムや言葉の美しさを味わってみましょう。

6

〈正答例と解説〉

正答例 「守」の文字の中心が行の中心と合っていないから、行の中心に合わせるようにする。
など

「文字と行の中心」という点で【下書き】の文字を見直すと、「守」の字の中心が、行の中心とは合っていないことが分かります。

書写の学習では、文字の形、大きさ、配列に注意して書くことが大切です。書こうとする文字全体の漢字と平仮名ひらがなの大きさのバランス、書き出しの位置、行の中心と文字の中心、字間や行間などに注意しながら書くように心がけましょう。

- 一 ・ 作業への取り組みやすさ（11字） ・ 作業への取り組み（8字） など

司会は、「パソコンを使う立場」と「手書きの立場」の、それぞれの立場からの主張を整理し、話し合いを進行しています。丸山さん①は、パソコンを使う立場から「パソコンであれば、何度でもかたんに書き直すことができるので、作業に取り組みやすいと思います。」と述べ、平川さん②は、手書きの立場から「手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができるので、取り組みやすいと思います。」と述べています。この二人の主張は、「作業」に「取り組みやすい」ことに着目している点で共通しています。司会は、この共通点から、話し合いの観点を考えて、このあとの話し合いの手順や方法を示しています。このように、討論会で司会をするときには、それぞれの主張の内容をよく聞き、主張の中心となることながら聞き分け、分類したり整理したりして、討論の観点を示すことが重要です。

二 3

丸山さん①は、主張の理由の中で、学級の中でどれくらいの人がパソコンの操作に慣れて

いるかということについてはふれていません。林さん⑤は、「パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。」と、質問をしています。林さんは、丸山さんの主張の中で述べられていないことがらを、くわしく聞き出そうとして質問をしています。

三 (大野さんの発言に対して質問があります。)
「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったですか。また、文字以外に読みにくいところはありましたか。(93字) など

大野さん②の発言の内容に対して、質問を述べます。質問は、林さん⑤の発言が参考になります。林さんのように、相手の発言を引用して、分からない点や確認したいことなどを質問してみましよう。相手の主張をふまえて質問をする場合には、相手が話した言葉をそのまま使って話したり、キーワードを用いて話したりするとよいでしょう。

四 ・わたしは、手書きの方がいいと思います。一人一人の字には個性があつて、おとなになって読み返したときに、字からその人のことを思い出すことができますからです。(75字)

・わたしは、パソコンを使う立場を選びます。より多くのことが書かれている方が記念に残る文集になると思います。パソコンを使えば、限られたページの中に、手書きで書くより

も多くの文字を書くことができます。(97字)

など

立場を明確にして自分の考えをまとめるには、その立場を選ぶ理由をはっきりさせる必要があります。討論の観点にそってまとめることが大切です。

一つ目の正答例は手書きの立場をとっており、文字の個性からその人を思い出せるという理由が述べられています。一方、二つ目の正答例はパソコンを使う立場をとっており、手書きより多くの文字が書けることで、結果としてくわしく思い出が書き残せるという理由が述べられています。

また、有意義な討論会にするためには、立場のちがう人の意見に耳をかたむけることも重要です。

一
2

星野さんは、「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと考えて【おすすすめする文章】を書いていきます。

が書いてあります。つまり、星野さんは【おすすすめする文章】の最初で、自分が伝えたいことが何かを述べ、読者が理解しやすくなるように書き出しをくふうしています。このように、文章を書くときには、書き出しに何を書くかを考えてくふうしてみましよう。

二 「かみかみあえ」は、するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。よくかむため、だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいのです。(78字) など

星野さんは、「かみかみあえ」をおすすすめする二つ目の理由として、むし歯を防ぐ効果について書こうとしています。【紹介する文章】からは、「かみかみあえ」は、「よくかんで食べるこんだて」であることが分かります。【保健室の先生の話から分かったこと】の中から

は、「よくかむ」と「だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、おし歯になりにくい」ことが分かります。このことをまとめて書く必要があります。

星野さんが【保健室の先生の話から分かったこと】をもとにすいせんする理由を書いたように、確かな情報にもとづいてすいせんする理由を書くこと、より説得力をもって相手に伝えることができます。

三 3

星野さんは、「かみかみあえ」をおすすめする一つの理由として、人気の献立であることを書いています。そのときに、同じく人気の「ツナマヨサラダ」と比べ、「ツナマヨサラダ」にはない「かみかみあえ」ならではのよさを書くことで、おうちの人に理解してもらおうとしています。

このように、すいせんする文章を書くときには、他のものと比べて、自分がすいせんするもののよさを強調することが効果的です。

一 4

谷口さんのように、文章を読む中で意味が分からない言葉があったときには、国語辞典などを引いて確かめるようにすることが大切です。そして、いくつかの意味がある場合には、文章の内容に合うものはどれかを考えることが大切です。ここでの「発こう」は、「生地をパンの形にし」「焼き上げます」などの言葉から、「発酵」であることが分かります。

二 2

【資料1】は「パン職人の仕事」が書かれたページであり、【資料2】は「パン職人の声」が書かれたページです。【資料2】のパン職人の坂下さんへのインタビューには、【資料1】ではあまり書かれていない、パン職人の仕事に対する考え方について、くわしく書かれています。

自分が知りたいことを調べるときに、一冊の本や資料で解決しない場合には、複数の本や資料、インターネットなどで調べ、情報を比べたり補おぎなったりして読むことが大切です。

【資料2】で、坂下さんがパン職人になるまでが書かれているのは、「◆ どのようにして、パン職人になったのですか。」のまとめりです。このまとめりに書いてある内容と、【資料1】の《パン職人への道》につけられた番号とを関係付けて読む必要があります。坂下さんは、中学校、高等学校、専門学校を卒業後、地元のパン屋で助手として修業をしたと書かれています。

四 (1) ・パン職人には、毎日同じ味になるように、その日の天気や気温、しつ度に合わせて

作り方を考えるという苦労があります。一方で、焼きたてのパンをお店にならべるとお客様からかん声が上がるといふ喜びもあります。(98字)

・パン職人には、お客さまの食べたいパンを想像し、新しいパンを思い通りに作るむずかしさがあります。一方で、自分の思いどおりのパンが焼き上がった時には、とてもうれしさを感じるという喜びもあります。(95字) など

【資料2】から、適切な情報を取り上げてまとめ、スピーチをするような言葉づかいで書く必要があります。「パン職人の仕事の苦労」については、「◆ この仕事の大変なところ、苦労は何ですか。」のまとめりを中心に読むこと、「パン職人の仕事の喜び」については、「◆ どのような時に仕事の喜びを感じますか。」のまとめりを中心に読むことが大切です。

このように、図鑑や事典などの文章を読むときには、自分が何を知りたくて読むのかという目的によって、どこを中心に読めばよいのかが変わってきます。目的を明確にして読むことが大切です。

四 (2) ・手順 ・流れ など

話し言葉は、発せられたとたんにすぐに消えてしまうので、文字で残せる書き言葉とちがって、あとから内容を確認することができません。話すときには、おずかしい言葉や、分かりにくい言葉、まちがえやすい言葉は、なるべくさけるようにすることが大切です。

「こうてい」は、「工程」の他にも「校庭」「高低」「行程」など、同じ音でちがう意味をもつ言葉があります。ここでは、「工程」を、同じような意味を表す別の言葉に変えて話す方が、相手にとって分かりやすくなります。

一 (1) 大ものをつろうとはりきっている二人の宇宙人は、近所でのつりをあきらめ、さかなのいる星をさがしにはるか遠くまで出かけた。(59字) など

森内さんは、自分の考えをまとめるために、登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、あらすじをまとめています。ここでは、「**あらすじをまとめた表**」の「中」の指示された部分について、必要なことながらをおさえ、あたえられた字数にそってまとめる必要があります。物語の展開を適切にとらえるためには、中心となる登場人物の行動や心情の変化をとらえたり、情景を想像したりしながら読むことが大切です。

(2)

A 1

B 4

森内さんは、自分の考えをまとめるために、場面の様子や物語の展開に着目しながら、物語全体の構成の効果をとらえています。ここでは、森内さんが、物語の中で展開される出来事や登場人物の行動、心情の変化をさまざまな視点から読むことで、結末のおもしろさに気付いていることをとらえる必要があります。

物語の中には、登場人物の心情を直接的に表現せずに、登場人物同士の関係にもとづいた

行動や情景などを通して、表現しているものがあります。このような表現の仕方に注意したり、すぐれた文章表現に着目したりして読むことが重要です。

二 周りの星に自由に行けるほど技術が発達している宇宙人の、メガネで見てもえもの
コイノボリとのちがいを見ぬけませんがたには、技術ほどかしく成長しない残念な人
間の様子が表れていると思います。(93字)

物語全体を読んで宇宙人の人物像について自分の考えをまとめる問題です。中島さんの発言をふまえるということは、物語でえがかれている宇宙人をわたしたち人間とおきかえて物語全体を読み、自分の考えをまとめるということになります。そのためには、次のことを意識してまとめるとういでしょう。

まず、物語の複数の場面を関係付けて、どのような宇宙人であるかを考えます。ここでは、見さかいかなくつりを楽しみ周りに大きなさかなのいる星が少なくなってしまう場面、大もをつろうと意気ようようと出かけた場面、コイノボリだと気付かずに夢中になってつりあげようとしてつり上げられずにいる場面などがあります。

次に、それぞれの場面で宇宙人がどのような会話や行動をしたかを考え合わせて、物語全体では何を表しているのかを考えます。ここでは、宇宙人として見るとちよっとおかしいと

思われるすがたでも、わたしたち人間のすがたとみると、理解できる点があるでしょう。

このように、登場人物の人物像を通して、えがかれている人間の考え方や様子について自分の考えをまとめることが大切です。

同じ物語を読んでも、人によって考え方や感じ方がちがってくる場合があります。意見や感想を共有して自分の考えを広げていくことで、読書の楽しみもますます広がっていきます。ぜひ、さまざまな本を読み、学校の友達と意見や感想を交流してみましよう。

(参考)

本教材は、小学校国語に関する次の問題等を活用して作成しています。

・全国学力・学習状況調査

小学校六年生用ふり返り学習教材（国語） 令和二年七月

発行 文部科学省 〒一〇〇―八九五九 東京都千代田区霞が関三丁目二番二号

協力 東京書籍株式会社、学校図書株式会社、教育出版株式会社、光村図書出版株式会社、日本文教出版株式会社

著作権 本教材は、学校現場で子供たちの学びを支援することを目的として、文部科学省で作成したものです。各学校の設置者及び

学校等におきましては、当該目的・趣旨を踏まえた利用をお願いします。

なお、10の問題は、本教材の使用についてのみ許諾をいただいていますので、本教材以外での使用、転載はできません。